

追川とくのぶ 県議会 News

友信会
令和4年
春号

〈所属委員会〉 環境農林常任委員会
脱炭素社会・新エネルギーに関する特別委員会

追川徳信プロフィール
昭和53年3月 群馬県立榛名高等学校卒業
昭和55年3月 東京理工専門学校卒業
平成10年1月 追川工業株式会社代表取締役就任
(平成23年1月まで)
平成23年5月 高崎市議会議員初当選
平成27年5月 高崎市議会議員2期目当選
平成30年5月 高崎市議会建設水道常任委員会委員長
所属会派新風会副幹事長
令和3年10月 群馬県議会議員初当選

事務所
高崎市倉渕町三ノ倉1746-1
TEL/FAX 027-378-2463
連絡所
高崎市八幡町1315-17
TEL/FAX 027-343-5063
携帯
090-2300-2229
E-mail
t09023002229@gmail.com



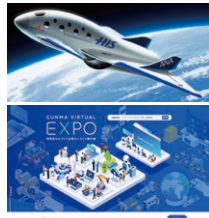
令和4年 第1回定例会 一般質問

スマホやパソコンで私の一般質問がみられます
群馬県議会中継 → 議員名から選ぶ → 追川徳信
ぜひ群馬県議会インターネット中継をご覧ください

○ 新産業の創出について

追川 質問 デジタル化や脱炭素が進み激変する社会において、本県経済が持続的に発展するためには、新たな富を生む産業を創出することが重要だと思うが、知事の考えを伺いたい。

知事 答弁 将来の成長産業のぐんまスペースアンドエアロプロジェクトや、温泉を活用したリゾートによる観光振興、災害やパンデミックに強いレジレンスNo.1を目指し、持続的な経済成長により県民所得の増加や、幸福度の向上に努めたい。



追川 まとめ これから成長期待できる新産業の企業誘致や、地元の企業もさらに新産業の育成ができれば、持続的な成長を遂げることができると思うので、知事のトップセールスで様々な新産業関連企業を群馬県に誘致していただきたい。

○ 人口減少対策としての移住定住促進の取り組みについて

追川 質問 人口減少対策は、県において大きな課題であり、その対策として、移住促進や過疎地域の振興を図る必要があると考えるが、県の取り組みについて伺いたい。

地域創生部長 答弁 ベーシック移住施策の充実や、関係人口からの移住の推進や、東京圏に勤務の転職なき移住の推進や人口減少地域では地域おこし協力隊など、市町村と連携してより多くの人を本県に呼び込みたい。



追川 まとめ 渋滞もなく職場まで短時間で行けて、様々な施策を組み合わせ、子育てしやすい環境を作ることが、首都圏の方々から選ばれる県や市町村になると思うので、移住促進に繋がる子育て環境の整備もお願いしたい。

○ 農業振興について 経営体の発展に向けた農地集積について

追川 質問 農業者が減少している中で、地域の中心となる経営体の発展のためには、農地集積による大規模化の推進が重要と考えるが、現状と今後の取り組みはどうか。

農政部長 答弁 農地バンクで借りたい人と貸したい人の橋渡し経営の拡大も進んでいる。今後も調査をはじめとする関係者と十分に連携をしながら、この取り組みを粘り強く進め、地域経済を支える農業の維持発展を図ってまいりたい。



追川 まとめ 平地の耕作地は傾斜が緩やかで農地バンクなどの様々な取り組みで、農地集積が徐々に進んでいるとのこと、今後もさらなる取り組みを推進していただきたい。

○ 中山間地域における農業支援について

追川 質問 人口減少が進む中、中山間地域による農業の役割は重要と考えるが、どのように維持、発展させていくのか伺いたい。

農政部長 答弁 市町村やJA 地域の農業者と連携して販売先の確保までを総合的にサポートする受け入れ体制を整備することにより、地域を支える新たな担い手の確保育成を図る。



追川 まとめ 市町村と連携して、高崎市のような支援体制を構築できれば、新規就農者も増え耕作放棄地解消に繋がるのでよろしくお願したい。

○ G-アナライズ&PRチームについて

追川 質問 県産農畜産物のブランド化を図るためには、消費者にその魅力や価値をPRする必要があるが、G-アナライズ&PRチームの来年度の取り組みを伺いたい。

農政部長 答弁 温泉宿泊プランや上州地鶏を組み合わせ、群馬プレミアム認証制度やYouTuber 等も活用したPRなどで、県産農畜産物のブランド力の一層の向上に取り組んでいく。



追川 まとめ 群馬の食材や温泉など成分分析し、動画やインターネット、SNS、YouTube等の様々な情報発信手段を使って、PRしていただき、これから集客効果がさらに現れることを期待したい。

○ 榛名湖周辺を活用したリゾートの推進について

追川 質問 榛名湖周辺には、温泉、森林等の観光資源があり、リゾート推進を図るための適地の一つと考えるがどうか。また、榛名湖周辺と他の観光地域が連携した周遊観光といった視点も必要だと考えるがどうか。

戦略セールス局長 答弁 榛名湖と周辺地域の観光資源を組み合わせ周遊観光長く滞在して頂けるコンテンツを作り、市町村や観光関連事業者の皆さんと連携しその取り組みをサポートしながらリゾートの推進に取り組んでいく。



追川 まとめ 更なる活性化策として榛名湖面と道路の高低差に、ボロボロで危険な階段を安全に整備していただき、そこで湖面ライブなどができれば人気も出ますし観光客が増えると思うのでぜひ事業化していただきたい。

○ インバウンドの誘客について

追川 質問 アフターコロナを見据えて外国人観光客の受け入れ体制を整えておく必要があると考えるが、どのように取り組むのか伺いたい。

戦略セールズ局長 答弁

将来のインバウンド需要の本格回復を見据え受入環境整備と情報発信の二本柱で現在取り組み、55施設に群馬エクセレンス施設として登録し、SNSを積極的に発信して市町村や観光事業者と連携して取り組んでいく。



追川 まとめ ぜひ群馬県の魅力を最大限発信し、あらゆる広報活動を行っていただき、群馬県すべての宿泊施設や観光施設や集客施設が満杯になることを願っていますので、万全の受け入れ態勢をよろしくお願ひしたい。

○ 森林・林業施策 森林資源の循環利用に向けた取り組みについて

追川 質問 県内民有林の人工林は、本格的な利用期を迎えており、今年度からスタートした「群馬県森林・林業基本計画2021-2030」では、林業経営による森林資源の循環利用に取り組むこととしているが、どのような取り組みか伺いたい。

森林部長 答弁

低コスト林業システムを導入し、ゾーニング区分の設定を行い森林資源の循環利用推進して持続可能な林業経営と将来にわたる木材の安定供給を図っていききたい。



○ 急傾斜地における施業について

追川 質問 県内の森林は、傾斜が急な地域も多いが、急傾斜地における林業経営は、具体的にどのように取り組むのか伺いたい。

森林部長 答弁

タワーヤーダーによる皆伐・再造林一貫作業を実施し、地形や資源状況に応じた、効果的・効率的な作業システムにより、収益性の向上を図り、林業・木材の自立に取り組む。



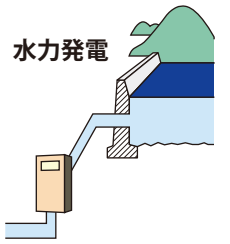
追川 まとめ 低コストの機械導入の補助で、山主も事業者も儲かり安全で林業従事者が増え活気に満ち溢れ、森林が元気によみがえるような取り組みをしていただきたい。

○ 再生可能エネルギーについて

追川 質問 2050年のカーボンニュートラルの実現のため、再生可能エネルギーの推進が必要と考えるが、現状はどうか。また、太陽光発電や木質バイオマス発電以外に、地熱発電や小水力発電の推進を図る必要があると考えるがどうか。

環境森林部長 答弁

2020年度は年間発電量が59億kwh、2014年度が46億kwhで1.5倍増加、ダムが発電が全体の50%以上、次に太陽光発電が4%、小水力、地熱発電はゼロで、課題があるが天候に左右されないためローコストな開発が重要であり、再生可能エネルギーの導入拡大そして、2050年カーボンニュートラルの実現に向け全力で取り組んでいく。



追川 まとめ 地熱発電の仕組みは、元から出ている温泉をその発電機械に通すだけで発電する仕組みで、6、7年で元が取れ、小水力発電も技術力が上がって少量の水でも発電できるようなので、ぜひ進めていただきたい。

○ 知事と建設業協会との意見交換について

追川 質問 知事と建設業協会各支部で意見交換を行ったと聞いているが、知事の所感を伺いたい。

知事 答弁

台風災害や除雪作業等の安心安全な県民生活の維持の確保に向けていま最前線でご尽力をいただいている。イメージアップの情報発信、DXやICT導入の推進によって、年間を通じたさらなる工事の標準化、資材高騰の対応、建設産業が持続可能で魅力的な産業となるように、建設作業に携わる皆さんと一緒に考えたいと思っている。



追川 まとめ 知事に切実な要望があったような、地域の安全を守っているすべての業者が、生き残れる受注の確保等、若者が入りたくするような環境を、群馬県が進んで整備していただくことが安心、安全で群馬県の安定的な発展に繋がると思う。ぜひ知事による業界のイメージアップやPRもよろしくお願いいたします。

初登庁



議会での様子



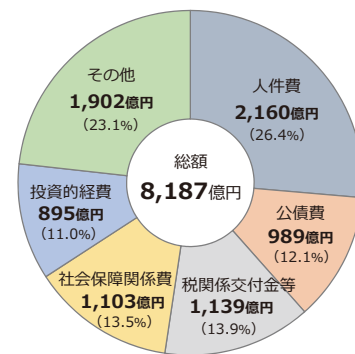
環境森林常任委員会

西毛広域幹線道路 高崎西工区一部開通 (榛名地区本郷町～箕郷町上芝 2.4km)



新型コロナ克服+新展開実現予算 困難を乗り越えて、飛躍を目指す!!

歳出の状況



コロナ対策経費は大幅に増加

● その他経費 + 464 億円

税関係交付金等は増加

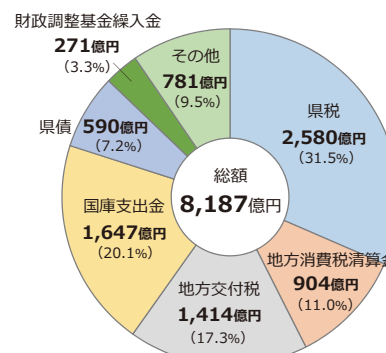
● 税関係交付金等 + 61 億円

社会保障関係費は増加

● 社会保障関係費 + 21 億円

※グラフの数値は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。

歳入の状況



県税は大幅に増加

● 県税 + 235 億円

税収増に伴い実質的な交付税は減少

● 臨時財政対策債 ▲ 435 億円
● 交付税 + 91 億円

県債は大幅に減少

● 臨時財政対策債 (再掲) ▲ 435 億円
● 財源対策的な県債 ▲ 70 億円
● その他の県債 ▲ 24 億円

※グラフの数値は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。